

平成22年4月14日

各位

上場会社名 新潟交通株式会社
代表者 代表取締役社長 金子 仁
(コード番号 9017)
問合せ先責任者 総務部長 今城 哲
(TEL 025-246-6335)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年3月期において特別損失を計上するとともに、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 9,250 | 800 | 200 | 200 | 5.25 |
| 今回発表予想(B) | 9,007 | 809 | 284 | 100 | 2.63 |
| 増減額(B-A) | △243 | 9 | 84 | △100 | |
| 増減率(%) | △2.6 | 1.1 | 42.0 | △50.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 9,162 | 685 | 557 | 303 | 7.97 |

修正の理由

1. 特別損失の計上

所有賃貸不動産の固定資産収益性を検証し、今後の見通しを勘案のうえ対象不動産の帳簿価格を回収可能額まで減額した結果、平成22年3月期において個別・連結ともに減損損失(建物・構築物)219百万円を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想修正の理由

基幹のバス事業は、期首から続く「景気低迷」や「新型インフルエンザの流行」そして「高速道路料金の休日ETC割引」の影響が根強く残りました。冬季の新潟市内の大雪により輸送人員の減少傾向は若干緩和したものの、引続き厳しい事業環境が継続した結果、売上高は予想を下回る見通しとなりました。

一方、NHK大河ドラマ「天地人」放映や「トキめき新潟国体」などの特需の発生と経費面における人件費抑制および軽油価格の想定内推移により、営業利益は当初予想どおりとなりました。経常利益は期首に見込んでいた営業外費用が発生しなかったこと等により、当初予測を上回る見通しとなりました。

当期純利益は、前述のとおり、賃貸不動産の収益性低下による減損損失を特別損失に計上した結果、前回公表予想値を下回ることとなりました。

なお、連結における平成22年3月期業績については、現在精査中であり、決定次第お知らせいたします。

※上記予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、連結子会社、株式会社スウィートファクトリージャパンは、平成22年2月26日付で同社への株式売却により当社連結対象より分離いたしましたことをお知らせいたします。

以上